

浅井長政

～友を守ったぶしよう～



浅井長政は近江の国（今の滋賀県）のぶし
ようで、あの織田信長の妹、お市とけっこん
しました。そして信長と手をむすびました。
しかし信長が、長政の古くからの友である
朝倉義景をせめたとき、長政はなやんだす
え、友をすてずに信長と戦うことをえらびま
した。友とのやくそくを、さいごまで守りと
おす人だったのです。
一五七〇年、姉川の戦いで、長政は織
田・徳川の大ぐんと戦いました。川をはさん
だ、はげしい戦いだったといわれています。
さいごは小谷城で信長にやぶれました。け
れども、長政とお市のむすめ、茶々・初・江
の三人は、のちに天下をうごかす、れきしに
のこる女せいになりました。

せんたく(1)

長政のおくさんはだれですか？
えらんで○をつけましょう。

① ねね

② お市

③ 茶々

せんたく(2)

お市は、だれのいもつとですか？
えらんで○をつけましょう。

① 織田信長

② 徳川家康

③ 豊臣秀吉

きじゅつ(1)

長政がまろうとした友はだれでしょうか？

きじゅつ(2)

姉川の戦いがあったのは何年でしょうか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1) くも

(2) あき

(3) もり

--	--	--

こたえ

浅井長政
あさ い なが まさ

せんたく

(1) ②
(2) ①

きじゅつ

(1) あさくらよしかげ

(2) 一五七〇年
せん ひゃく なな ねん

かん字

(1) 雲 くも
(2) 秋 あき
(3) 森 もり